

三井寺「9条の碑」除幕 1350人から寄付602万円

県内初建立 大津／滋賀 毎日新聞2025/11/5



三井寺の護法善神堂前広場でお披露目された「平和といのちをつなぐ碑」（九条顕彰碑）と、建立にあたった世話人ら＝大津市園城寺町の三井寺で、岸桂子撮影

憲法9条の条文を刻んだ「平和といのちをつなぐ碑（九条顕彰碑）」が大津市園城寺町の三井寺境内に完成し、日本国憲法が公布された日である「文化の日」の3日、除幕式があった。冷たい雨が降る中で見守った約200人は、平和を守る思いを新たにした。全国的に9条の顕彰碑の建立は相次いでいるが、県内では初めて。

2025年4月、「三井寺に『平和といのちをつなぐ碑』を建てる会」が発足し、広く寄付を募ってきた。10月までに約1350人から、目標額の倍を超える602万円が寄せられた。

碑は境内の護法善神堂前広場に設置。同寺の福家俊彦長吏が書いた条文が碑に刻まれた。

同会代表世話人の一人、土井裕明さん（滋賀・九条の会共同代表）は、「憲法9条を大切にしようとする市民の力は確固たるものだと示せた。三井寺にはたくさんの方が来られるので、その方々が碑を見て、9条のことを考えれば大成功だと思います」とあいさつした。【岸桂子】